

2023年2月2日(木) 舞鶴幼稚園ミニ講演

『障害ってなに？』

講演・榎崎

《今日の結論》

障害とは、個人に付随するものではなく、社会が生み出すものである。

→ ある特定の人の問題ではなく、
私たちみんな(自分)の問題である

講演の流れ

- 1、障害の種類について
- 2、「障害観」の変遷
- 3、障害者差別と優性思想
- 4、インクルーシブ保育を目指す

1、障害の種類について

- ・視覚障害
- ・聴覚障害
- ・ダウン症(染色体異常)
- ・脳性まひ(CP) 等身体障害
- ・広汎性発達障害 　　　　　　　その他

※先天性なのか後天性なのか

発達障害とは

神経(脳)の発生(分裂)過程でのばらつきによる不具合

- ・ 自閉スペクトラム症(ASD)
- ・ 注意欠如多動性症候群(ADHD)
- ・ 限局性学習症(LD) その他

発達障害に関して注意すべき点

※先天的なものであり、生後の環境(育児等)によるものではない

※病気ではないので治るといった類のものではない(個性)

※少しのばらつきもない完璧な脳はない
→ある・ないで分けられるものではない
→誰でも少しずつ持っている可能性

2、障害観の変遷

医学モデルから社会モデルへ

昔の障害観（1970年代まで）

障害は皮膚の内側にある（その人の中にある）
…個人の身体は変数であり、社会環境は定数である

= 医学モデル

→ 当事者(とその親)の努力によって克服する

新しい障害観（1980年代以降）

障害は皮膚の外側(社会)にある

…社会環境と少数派との間にある（関係の中にある）

個人の身体は変数であり、社会環境もまた変数である

= 社会モデル

→ 個人が環境に近づく、もしくは環境が個人に近づくという変化によって克服する

私(あなた)にも障害がある ～社会モデルで考えてみる～

身体障害が環境に因る意味

- ・眼鏡禁止の世界を想像してみる
- ・誰でもいつかは身体障害者になるという事実

障害は社会と少数派との関係の中にあるという意味

- ・マジョリティ、マイノリティとは誰のことか
- ・自分の中のマイノリティを考えてみる

3、障害者差別と優性思想

内面化している差別に気づく

- 相模原やまゆり園(障害者虐殺)事件
- 優性思想、優生保護法による不妊手術
- 出生前診断(羊水検査)、デザイナーズベビー

社会に内面化する差別

- 車いす、ベビーカーと公共の交通機関
- 感動ポルノ
- 視覚障害者、聴覚障害者の生きづらい環境

差別をなくすために必要なのは
~~「やさしさ」や「思いやり」~~か



知ること、近代社会としての成熟

大切なのは
道徳教育ではなく人権教育

憲法、障害者差別解消法

多様性の理解

青い芝の会行動綱領（横田弘起草）

われらかく行動する

一、われらは自らがCP者である事を自覚する。

一、われらは強烈な自己主張を行なう。

一、われらは愛と正義を否定する。

一、われらは問題解決の路を選ばない。

一、われらは健全者文明を否定する。

ニーメラー牧師の言葉

(ナチスのユダヤ人迫害を批判し強制収容所に入れられた)

「ナチスが最初に共産主義者を攻撃したとき、私は声をあげなかった。私は共産主義者ではなかったから。」

社会民主主義者が牢獄に入れられたとき、私は声をあげなかった。私は社会民主主義者ではなかったから。」

ナチスが労働組合員たちを攻撃したとき、私は声をあげなかった。私は労働組合員ではなかったから。」

そして、ナチスが私を攻撃したとき、私のために声をあげる者は誰一人残っていなかった。」

4、インクルーシブ保育を目指す

舞鶴幼稚園の場合

障害児保育



統合保育



インクルーシブ保育

誰をインクルーシブ（包摂）するのか

- ・ 発達障害、身体障害
- ・ 外国籍
- ・ 貧困
- ・ 性的マイノリティ

なども含むすべての子ども

「配慮のいる子」「難しい子」という言い方

→ その子だけの問題ではなく、園の様々な環境
（人、場所、活動など）の問題と捉える

※ひとりひとり全員を配慮している。

子どもによってよりフォローが必要な時期があるという考え方。

なぜインクルーシブ保育(教育)を目指すのか

→ 社会を知る(多様性を知る)ために

→ よりよい社会であるために

→ 仲間としてつながるために

舞鶴幼稚園の実際

理想と現実の違い
実現の難しさ

…努力と工夫だけでは難しい

それでも方向性として目指すことの大切さ

参考文献

『脳から見た自閉症』 講談社

『個性学入門』 朝倉書店

『子どものための居場所論』 かもがわ出版

『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育』 学事出版

『インクルーシブ保育っていいね』 福村出版

『わたしの身体はままならない』 河出書房新社

『この国の不寛容の果てに』 大月書店

『どうして、もっと怒らないの?』 現代書館

『障害者ってだれのこと?』 平凡社

『障害者差別を問いなおす』 ちくま新書

『やまゆり園事件』 幻冬舎

『「現代優性学」の脅威』 インターナショナル新書